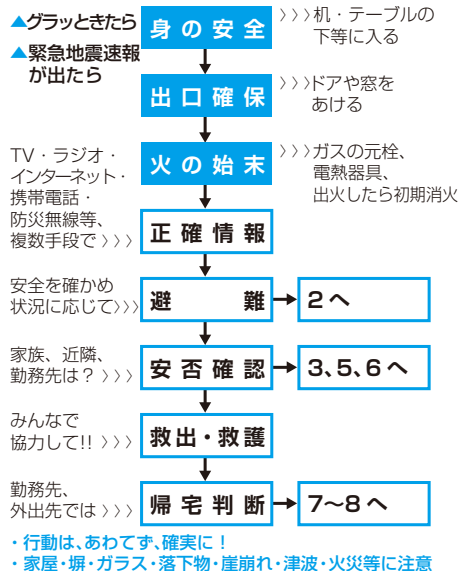


(財)東京都生活衛生営業指導センター 防災カード



1

2. 避難方法

どこに逃げるか

- ①いったん様子を見る ⇒ 一時避難場所
地震に伴う火災が発生した場合は、近くの一時避難場所(公園・空地・学校等)に避難して様子を見る。
- ②多くの火災が発生 ⇒ 広域避難場所
火災が燃え広がった場合は、火煙やふく射熱から身を守るため、自治体が指定した広域避難場所に避難する。
- ③家が倒壊、焼失したとき ⇒ 避難所
戻る家がなくなった場合は、小中学校等に開設される避難所に行き、自治体や自主防災組織の指示に従う。

どうやって逃げるか

- ①避難前に、電気・ガスの元栓を閉め、戸締りを！
- ②状況に応じて避難
火災拡大や建物倒壊が無ければ、出火防止や初期消火に努める。避難は運動靴等を履いて、広い道路で、塀等の少ない道を歩く。日頃から、最小限の持出し品を準備しておく。
- ③風下は避け、デマ等に注意し公共機関の情報を入手！
駅等の群集が殺到する場所はかえって危険と心得る。

2

3. 安否確認方法

かかり易い電話

1. 公衆電話(テレホンカードは使えない)
2. 携帯電話(局地的災害の場合)

大規模災害時には、電話は制限される。
安否確認システム、Eメール、アマチュア無線、WEBサイト掲示板等、他の方法で！
数日してから災害電話等を使って、連絡しよう。

情報収集

1. 携帯電話のワンセグ(D-TV)放送：
携帯電話にD-TV放送の受信機能を付加したもの
※停電、通信混雑が発生しても、D-TV(デジタルテレビ)放送を視聴できます。
2. 携帯ラジオ：
ニッポン放送(1242KHz)では、災害時にお勤め先安否情報(ビル単位)、学校安否情報(学校単位)を放送。

3

4. 身分証明

>>> 個人データ

- 氏名[ふりがな]
- 血液型[RH] A・B・O・AB ●性別 男・女
- 生年月日[西暦] 年 月 日
- 自宅[連絡先]
- 勤務[連作先]
- 主治医病院名

>>> 緊急連絡先[保護者・親戚・知人等]

- 氏名 TEL
- 氏名 TEL
- 氏名 TEL

>>> 避難先[場所・連絡方法等]